

事業所名

ルーマス

児童発達支援 支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

10 日

法人（事業所）理念		・できている部分を認め、大いに褒めることで、子どもたち自身が気が付いていない『できた!!!』に気づくことができるような働きかけを行っていきます。認めてもらえる喜びを感じ、褒めてもらう経験を重ねることで自己肯定感を高めつつ、自分自身のことはもちろん、自分の周りにいる人たちの事を認めたり、大切にできるような優しい心を育てていきます。 ・子どもたち一人ひとりを尊重しながら丁寧な関わりを行い、“大人の言うことを聞かせる”のではなく、職員との関わりを通して“周囲を受け入れつつ自分自身で考え理解する”ことができるような働きかけを行っていきます。自分自身のことはもちろん、自分の周りにいる人たちの事を思いやり、大切にできるような優しい心を育てていきます。		
支援方針		・ABAの観点で行動の分析を行い、望ましい行動の強化へと導いていきます。 ・『注意や否定』『間違いを正す』のではなく、思いに寄り添いながら事実を伝えることで、一緒に考えていくことができるような環境設定を行っていきます。 ・個々を認め、どんな小さなことでもとにかく思い切り褒めることで、自己肯定感や自己効力感を高めていきます。		
営業時間		9 時 30 分から 18 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	事業所内での生活を通し、手洗いうがい等の基本的な生活習慣を身に着けていけるよう働きかけていきます。自身の健康への意識を高め、自分の体調の変化や清潔面に気を配ることができるよう支援していきます。また、自身の持ち物を把握し、身の回りの整理整頓を段階を踏みながら自律的に行うことができるよう支援していきます。		
	運動・感覚	遊びや課題を通して粗大運動と微細運動をバランス良く取り入れていきます。子供たち自身が、自然な形で体の各部位ごとの動かし方を意識することができるような働きかけを行うことでボディイメージを育てていきます。また、体幹を整えていくことで、姿勢の維持や着席での課題の取り組み、集中力の持続にも繋げていくことができるよう支援していきます。		
	認知・行動	大人の一方的な押しつけになってしまう様、子どもたちの思いに寄り添いながら、言葉選びやタイミング、場所等の環境設定に配慮し一人ひとりがその子なりにしっかりと理解できるような働きかけを行っていきます。様々な部分でABAの観点での行動分析を行い、望ましい行動の強化へと導いていきます。		
	言語 コミュニケーション	職員や他児との関わりの中で職員が子どもたちの思いを代弁しながら関わることによって相手の思いや、自分自身の伝えたい事に自分で気が付く事ができるようにしていきます。また、それを伝える際の言葉の組み立て方、その場面ごとに必要な言葉選びや、言葉の使い方について知らせていきます。		
	人間関係 社会性	子どもたち一人ひとりのできている部分を認め、大いに褒めることで、子どもたち自身が気が付いていない『できた!!!』に気づくことができるような働きかけを行っていきます。認めてもらえる喜びや、褒めてもらうことの経験を重ねることで自己肯定感を高めつつ、自身の周りにいる人たちの事を認めたり、大切にできるような優しい心を育てていきます。		
家族支援		定期的に個別面談を行ったり、送迎時やLINE等日々のやり取りを密に行う中で情報共有や相談支援を行っていきます。(適宜、家族支援加算、子育てサポート加算を活用)	移行支援	事業所内での他児との関わり方や生活習慣等、日常生活を意識した声掛けや働きかけを行っていきます。また、幼稚園や保育園、学校との連携をとり、先を見据えた継続した支援を行うことができるようにしていきます。
地域支援・地域連携		子どもたちに関わる関係機関との連携や、地域活動についての共有やの参加をすることで興味を持ち、地域とのつながりを意識できるような支援を行っていきます。	職員の質の向上	定期的な事業所内研修に加え、外部での各種研修に参加する機会を設け、専門的な知識や技術を習得し、スキルアップできるようにしていきます。
主な行事等		様々な活動(製作やレク等)のテーマや内容から季節ごとの変化に気が付いたり、季節の行事に親しむことができるようにしていきます。		

事業所名

ルーモス

放課後等デイサービス 支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

10 日

法人（事業所）理念		・できている部分を認め、大いに褒めることで、子どもたち自身が気が付いていない『できた!!!』に気づくことができるような働きかけを行っていきます。認めてもらえる喜びを感じ、褒めてもらう経験を重ねることで自己肯定感を高めつつ、自分自身のことはもちろん、自分の周りにいる人たちの事を認めたり、大切にできるような優しい心を育てていきます。 ・子どもたち一人ひとりを尊重しながら丁寧な関わりを行い、“大人の言うことを聞かせる”のではなく、職員との関わりを通して“周囲を受け入れつつ自分自身で考え理解する”ことができるような働きかけを行っていきます。自分自身のことはもちろん、自分の周りにいる人たちの事を思いやり、大切にできるような優しい心を育てていきます。		
支援方針		・ABAの観点で行動の分析を行い、望ましい行動の強化へと導いていきます。 ・『注意や否定』『間違いを正す』のではなく、思いに寄り添いながら事実を伝えることで、一緒に考えていくことができるような環境設定を行っていきます。 ・個々を認め、どんな小さなことでもとにかく思い切り褒めることで、自己肯定感や自己効力感を高めていきます。		
営業時間		9 時 30 分から 18 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	事業所内での生活を通し、手洗いうがい等の基本的な生活習慣を身に着けていけるよう働きかけていきます。自身の健康への意識を高め、自分の体調の変化や清潔面に気を配ることができるよう支援していきます。また、自身の持ち物を把握し、身の回りの整理整頓を段階を踏みながら自律的に行うことができるよう支援していきます。		
	運動・感覚	遊びや課題を通して粗大運動と微細運動をバランス良く取り入れていきます。子供たち自身が、自然な形で体の各部位ごとの動かし方を意識することができるような働きかけを行うことでボディイメージを育てていきます。また、体幹を整えていくことで、姿勢の維持や着席での課題の取り組み、集中力の持続にも繋げていくことができるよう支援していきます。		
	認知・行動	大人の一方的な押しつけになってしまう様、子どもたちの思いに寄り添いながら、言葉選びやタイミング、場所等の環境設定に配慮し一人ひとりがその子なりにしっかりと理解できるような働きかけを行っていきます。様々な部分でABAの観点での行動分析を行い、望ましい行動の強化へと導いていきます。		
	言語 コミュニケーション	職員や他児との関わりの中で職員が子どもたちの思いを代弁しながら関わることによって相手の思いや、自分自身の伝えたい事に自分で気が付く事ができるようにしていきます。また、それを伝える際の言葉の組み立て方、その場面ごとに必要な言葉選びや、言葉の使い方について知らせていきます。		
	人間関係 社会性	子どもたち一人ひとりのできている部分を認め、大いに褒めることで、子どもたち自身が気が付いていない『できた!!!』に気づくことができるような働きかけを行っていきます。認めてもらえる喜びや、褒めてもらうことの経験を重ねることで自己肯定感を高めつつ、自身の周りにいる人たちの事を認めたり、大切にできるような優しい心を育てていきます。		
家族支援		定期的に個別面談を行ったり、送迎時やLINE等日々のやり取りを密に行う中で情報共有や相談支援を行っていきます。(適宜、家族支援加算、子育てサポート加算を活用)	移行支援	事業所内での他児との関わり方や生活習慣等、日常生活を意識した声掛けや働きかけを行っていきます。また、幼稚園や保育園、学校との連携をとり、先を見据えた継続した支援を行うことができるようにしていきます。
地域支援・地域連携		子どもたちに関わる関係機関との連携や、地域活動についての共有やの参加をすることで興味を持ち、地域とのつながりを意識できるような支援を行っていきます。	職員の質の向上	定期的な事業所内研修に加え、外部での各種研修に参加する機会を設け、専門的な知識や技術を習得し、スキルアップできるようにしていきます。
主な行事等		様々な活動(製作やレク等)のテーマや内容から季節ごとの変化に気が付いたり、季節の行事に親しむことができるようにしていきます。		